



上北だより

平成28年7月1日
練馬区立上石神井北小学校
校長 市川 順康

「夏休みの生活を前に」

校長 市川 順康

今年4月、「世界一貧しい大統領」と呼ばれた南米ウルグアイの前大統領、ホセ・ムヒカ氏が初来日しました。新聞社の取材で、彼は「地球にはみんなで生きていけるだけの資源がある。富に縛られず、どうすれば幸せになれるか考えよう」と呼びかけたそうです。2012年にリオデジャネイロで開かれた国際会議では、「グローバル経済に人類が振り回されている。貧しい人とは無限の欲があり、いくら持っても満足しない人」と述べました。世界にはいろいろな国があり、世界の指導者や政治家にはいろいろな考えの人がいますが、地球的な視野で考えたときに、この考え方には、大切な意味が込められていると考えます。

まず、「分ける」という考え方です。先日の移動教室、ベルデ軽井沢での男子の部屋で、布団が敷ききれずに困っている子どもたちがいました。一人あたりの畳数と畳の縁の線で、広さを均等に分けようとしたのでしょう。ただ、一番先に布団を敷いた子どもの布団の位置が適切でなかったため、一番最後に敷いた子どもの布団が入らないというのです。消灯時間が迫り、子どもたちはこの後、しおりを書いたり、トイレに行ったり、歯磨きをしたりと、まだまだやる事が一杯です。子どもたちのどうしよう、どうしよう、そんな焦る気持ちになってきたところで、たまたまその部屋を巡回した私は「少しずつ布団を重ね合せて、詰めて敷くといいのに」とアドバイスしました。急いでその部屋の子供たちは自分の布団を持ち、重ね合わせながら、寝支度を調べました。布団は、ベッドと違い、はっきりと一人分ではありません。融通し合いながら調整することが出来ます。子どもたちも、今回のことで「分ける」とはどういうことかを考え直したかもしれません。そして、今、私たちが考えなければいけない「分ける」とは、数的に平等にするというよりも、この「工夫して分割する」という考え方に、意味があるのではないのでしょうか。

先月、上石神井北小学校55周年記念行事では、子どもたちの元気な声と保護者、地域の皆様のご協力でもとてもあたたかい、楽しい会を催すことが出来ました。大きさは異なるかもしれませんが、喜びや楽しさを分け合うことが出来ました。次の60周年には、また、新たな上北小の歴史が刻まれ、お祝いし合うことが出来るでしょう。そして、長いお休みが始まります。夏の暑さに負けないように、「工夫して分割する」考えを意識して、規則正しい生活、家事もきちんと役割を分けて、学習にも計画的に取り組みしましょう。

7月の行事予定

1日	(金)	安全指導	11日	(月)	クラブ活動
4日	(月)	委員会活動	12日	(火)	5時間授業・避難訓練・会議日
5日	(火)	薬物乱用防止教室(6)	校内本の探検ラリー(2)		
6日	(水)	ベルマーク回収	〈7/14(木)まで〉		
		金管:七夕コンサート	13日	(水)	個別指導日
7日	(木)	社会科見学(3)・学力調査(5)	14日	(木)	5時間授業・会議日
8日	(金)	社会科見学(4)	こころの劇場(6)		
		情報モラル教室(5)	15日	(金)	5時間授業・会議日
9日	(土)	学校公開日	19日	(月)	お米の学校(5)
		セーフティー教室(12み)	20日	(火)	第1学期終業式・5時間授業

夏季休業日(7/21~8/31)

学力補充教室(7/21日・7/22日)

夏季水泳指導日(7/25~7/29、8/1~8/5、8/22~8/26)

